

1929(昭和4)	1・曙石綿工業所を創業、ウーブンブレーキライニング、クラッチフェーシングの製造開始
1936(昭和11)	1・曙石綿工業(株)に改組
1939(昭和14)	6・羽生製造所建設、稼働開始
1952(昭和27)	1・鉄道車両用耐摩レジンの生産開始
1958(昭和33)	11・国鉄新特急「こだま」にレジン制輪子、ディスクブレーキライニングが採用

## 第1の転換期

1960(昭和35)	5・曙ブレーキ工業(株)に改称
1961(昭和36)	5・アメリカ・ベンディックス社とブレーキに関する技術援助契約を締結 10・東京証券取引所市場第二部に上場
1962(昭和37)	11・岩槻製造所建設、稼働開始(現：曙ブレーキ岩槻製造(株))
1965(昭和40)	7・山陽ブレーキ工業(株)を設立(晝田工業(株)、三菱重工業(株)と共同出資)(現：曙ブレーキ山陽製造(株))
1967(昭和42)	10・岩槻市元荒川沿いにテストコースが完成
1968(昭和43)	5・豊生ブレーキ工業(株)を設立(トヨタ自動車工業(株)、アイシン精機(株)、豊田鉄工(株)と共同出資)
1969(昭和44)	3・アメリカ・ベンディックス社とアンチスキッド装置に関する契約を締結
1971(昭和46)	4・福島製造所建設、稼働開始(現：曙ブレーキ福島製造(株)) 12・本社社屋竣工(東京都中央区)
1973(昭和48)	10・山陽ハイドリック工業(株)を設立(現：曙ブレーキ山陽製造(株))
1974(昭和49)	2・(株)日本制動安全研究所を設立(現：(株)曙ブレーキ中央技術研究所)
1976(昭和51)	9・三春製造所建設、稼働開始
1980(昭和55)	4・アメリカ現地法人 Akebono America, Inc. を設立
1981(昭和56)	6・曙エンジニアリング(株)を設立
1982(昭和57)	4・AD型ディスクブレーキ「昭和56年度日本機械学会賞」受賞
1983(昭和58)	9・東京証券取引所市場第一部に上場
1984(昭和59)	ー・イギリスのオートモティブ・プロダクツ社へ技術供与
1985(昭和60)	9・フランス現地法人Akebono Europe S.A.R.L.を設立(現：Akebono Europe S.A.S. (Gonesse))

## 第2の転換期

1986(昭和61)	4・曙ブレーキいわき製造(株)を設立 10・アメリカ・GM社との合弁会社 Ambrake Corporation を設立
1987(昭和62)	ー・日本独自の技術によるABS(アンチロックブレーキシステム)がメーカーに初採用 ー・フランスのValeo社と摩擦材の技術援助契約を締結 12・西ドイツ(当時)ボッシュ社とのABSに関する技術援助契約を締結
1988(昭和63)	8・「曙ブレーキ・ブルーピング・グラウンド」完成
1989(平成元)	10・アメリカ開発拠点Akebono Brake Systems Engineering Center, Inc.を設立
1992(平成4)	6・曙ブレーキ山形製造(株)を設立
1994(平成6)	10・アメリカ現地法人Amak Brake Corporationを設立 12・アメリカ現地法人Akebono Corporation(統括持株会社)を設立
1995(平成7)	4・フランス研究開発拠点CREAを設立
1996(平成8)	5・インドネシア PT. Tri Dharma Wisesaに資本参加(現：PT. Akebono Brake Astra Indonesia) 7・自動車用ディスクブレーキにおいて全社でISO9001の認証取得(当時ISO9002) 8・館林製造所建設、稼働開始

1998(平成10)	2・フランス生産拠点Akebono Arras S.A.を設立(現：Akebono Europe S.A.S. (Arras)) 7・アメリカ現地法人 Akebono Corporation (North America)(米国内統括会社)を設立(現：Akebono Brake Corporation) ー・アメリカB.E.I.テクノロジーズ社と自動車用水晶式角速度センサーの独占販売契約締結
------------	---

1999(平成11)	4・「曙の理念」を制定 4・「Akebono 21世紀宣言」を制定
------------	--------------------------------------

2001(平成13)	5・アメリカ現地法人Amtec Brake L.L.C.を設立 11・本社新社屋「Akebono Crystal Wing(ACW)」完成(埼玉県羽生市)
------------	--

2003(平成15)	1・シンガポール法人 Akebono Corporation Asiaを設立 9・あけぼの123(株)を設立
------------	---

2004(平成16)	3・ドイツ現地法人 Akebono Europe GmbHを設立 4・あけぼの123(株)が埼玉県の製造業として初めて特例子会社認定取得 10・ブレーキ博物館「Ai-Museum」完成(埼玉県羽生市) 10・中国現地法人 広州曙光制動器有限公司を設立 11・中国現地法人 曙光制動器(蘇州)有限公司を設立
------------	--

2005(平成17)	3・(株)APSを設立
------------	-------------

2006(平成18)	1・イギリス現地法人 Akebono Advanced Engineering(UK) Ltd. を設立 8・タイ現地法人 Akebono Brake(Thailand)Co., Ltd.を設立
------------	--

2007(平成19)	4・ベルギー現地法人 Akebono Brake Europe N.V.を設立 9・F1に新規参戦、「ボーダフォン マクラーレン メルセデス」チームのオフィシャルサプライヤーになる 10・曙ブレーキ産機鉄道部品販売(株)を設立
------------	---

2008(平成20)	3・中部オフィス「Akebono Central Pier」竣工(愛知県豊田市) 7・本店新社屋「Global Head Office」竣工(東京都中央区)
------------	---

2009(平成21)	9・ドイツRobert Bosch GmbHと北米ブレーキ事業に関する譲渡契約を締結 12・ドイツRobert Bosch GmbHから北米ブレーキ事業を正式譲渡
------------	--

## 第3の転換期

2010(平成22)	3・ボルシェ「バナメーラ」用ディスクブレーキパッドを納入開始
------------	--------------------------------

2011(平成23)	7・館林製造所、ISO/TS16949の認証取得 9・AD型ディスクブレーキが「重要科学技術史資料登録台帳(未来技術遺産)」に登録 11・ベトナム現地法人 Akebono Brake Astra Vietnam Co., Ltd.を設立
------------	--

2012(平成24)	4・メキシコ現地法人 Akebono Brake Mexico S.A. de C.V. を設立 11・「曙ブレーキ・ブルーピング・グラウンド」を「Ai-Ring」に改称 12・グローバル研修センター「Ai-Village」竣工
------------	--

2013(平成25)	3・マクラーレンの超高性能ロードカー「P1™」にブレーキシステムを供給
------------	-------------------------------------

2014(平成26)	2・マクラーレンメルセデスとの技術的パートナーシップ契約を強化 4・(株)曙アドバンスドエンジニアリングを設立 4・スロバキア現地法人 Akebono Brake Slovakia s.r.o. を設立
------------	---

2015(平成27)	10・A&M Casting (Thailand) Co., Ltd. を設立(株)真岡製作所と共同出資
------------	--

# 曙ブレーキグループ 国内拠点沿革

## 曙ブレーキ岩槻製造(株)

1962(昭和37)	11・曙ブレーキ工業(株)岩槻製造所、稼働開始 
1963(昭和38)	ー・ドラムブレーキを生産開始
1965(昭和40)	10・SC型ディスクブレーキを生産開始
1966(昭和41)	7・デュアル・ダイナモメーターを設置
1967(昭和42)	9・トランスファープレス稼働開始 10・油圧調整バルブを生産開始 12・F型ディスクブレーキを生産開始
1971(昭和46)	7・新生産方式を導入
1974(昭和49)	2・二輪車用ディスクブレーキを生産開始
1979(昭和54)	9・AD型ディスクブレーキを生産開始
1980(昭和55)	4・YN活動開始(142グループが活動)
1981(昭和56)	1・ブランキングプレス工場完成
1991(平成3)	3・ディスクブレーキ生産累計1億個達成 
1996(平成8)	7・ISO9001の認証取得(当時ISO9002)
2000(平成12)	ー・羽生製造よりドラムブレーキアッセンブリーを移管
2002(平成14)	3・ISO14001の認証取得 3・曙ブレーキのグループ再編により分社化し「曙ブレーキ岩槻製造(株)」として独立
2009(平成21)	8・ISO/TS16949の認証取得 12・三春製造よりディスクブレーキと産機鉄道製品、山陽製造よりディスクブレーキを移管
2011(平成23)	9・三春製造よりピストンを移管
2012(平成24)	11・創立50周年式典を開催 
2015(平成27)	2・羽生分室、ISO/TS16949の認証取得

## 曙ブレーキ山陽製造(株)

1965(昭和40)	7・山陽ブレーキ工業(株)を設立(晝田工業(株)、三菱重工業(株)と共同出資) 9・稼働開始、自動車用ブレーキを生産開始 
1968(昭和43)	5・常陸宮殿下ご夫妻ご来社 
1969(昭和44)	5・三菱重工業(株)品質保証納入工場「第1号」の認定を受ける
1970(昭和45)	1・産業機械用ドラムブレーキを生産開始
1973(昭和48)	10・山陽ハイドリック工業(株)を設立(晝田工業(株)、(合)浅越機械製作所、山陽ブレーキ工業(株)と社共同出資)
1983(昭和58)	3・山陽ハイドリック工業(株)、熱処理装置を導入。ガス軟窒化・浸炭窒化処理を開始
1989(平成元)	10・ディスクブレーキを生産開始
1990(平成2)	5・山陽ハイドリック工業(株)吉備工場、稼働開始 
1991(平成3)	9・山陽ブレーキ工業(株)吉備工場、稼働開始 11・山陽ハイドリック工業(株)、中国ハイドリック(株)との合併
1997(平成9)	7・山陽ブレーキ工業(株)、ISO9001の認証取得
1998(平成10)	9・山陽ハイドリック工業(株)、ISO9001の認証取得
2001(平成13)	5・山陽ブレーキ工業(株)、ISO14001の認証取得
2003(平成15)	3・山陽ハイドリック工業(株)、ISO14001の認証取得
2004(平成16)	12・山陽ハイドリック工業(株)妹尾工場の閉鎖
2005(平成17)	4・曙ブレーキ山陽製造(株)を設立(山陽ブレーキ工業(株)と山陽ハイドリック工業(株)を統合)
2007(平成19)	3・ISO/TS16949の認証取得
2010(平成22)	3・ディスクブレーキを岩槻製造へ移管し生産終了。総社工場を閉鎖し2工場化となる

## 曙ブレーキ福島製造(株)

1971(昭和46)	4・曙ブレーキ工業(株)福島製造所、稼働開始。 4・大型車用ライニングを生産開始。 4・保寿生制度スタート	
1972(昭和47)	4・リビルトシューを生産開始	
1973(昭和48)	4・ドラムブレーキライニング月産50万枚増産により北側工場増築 11・設備棟など西側設備増設	
1974(昭和49)	3・第1期保寿生44名卒業	
1980(昭和55)	4・西側工場増築	
1983(昭和58)	8・体育館完成	
1984(昭和59)	6・産業機械用摩擦材を生産開始	
1986(昭和61)	5・ノンアスベストライニングを生産開始	
1996(平成8)	7・ISO9001の認証取得(当時ISO9002)	
2000(平成12)	3・ISO14001の認証取得	
2001(平成13)	4・曙ブレーキのグループ再編により分社化し「曙ブレーキ福島製造(株)」として独立	
2006(平成18)	4・館林製造所より鉄道車両用摩擦材を移管	
2007(平成19)	4・東海道・山陽新幹線「N700系」用ディスクブレーキライニングを生産開始	
2008(平成20)	8・ISO/TS 16949の認証取得 9・「ワクワクステーション」開設(拠点第1号) 12・クラッチフェーシングを生産開始	
2009(平成21)	3・ディスクブレーキパッドを生産開始	
2011(平成23)	3・東日本大震災発生後、10日間で生産ライン復旧 12・創立40周年記念式典を開催	
2012(平成24)	3・東北新幹線E5系「はやぶさ」用等面圧ディスクブレーキライニングを生産開始 5・クラッチフェーシング設備熱成型機増設	
2013(平成25)	10・日産自動車(株)2012年度優良品質賞を受賞 10・日本発のクルーズトレイン「ななつ星in九州」用ディスクブレーキライニングを生産開始	

## 曙ブレーキ山形製造(株)

1992(平成4)	6・曙ブレーキ山形製造(株)を設立	
1993(平成5)	2・ディスクブレーキパッドを初出荷	
1995(平成7)	5・自動ラックシステム稼働開始	
1996(平成8)	7・ISO9001の認証取得(当時ISO9002)	
1997(平成9)	9・梱包品を生産開始	
1998(平成10)	1・厚生棟竣工	
2000(平成12)	3・ISO14001の認証取得	
2005(平成17)	3・ゼロ エミッションを達成	
2008(平成20)	8・ISO/TS16949の認証取得 8・プレッシャープレート打ち抜き設備を移管	
2010(平成22)	3・ボルシェ「パナメーラ」用ディスクブレーキパッドを生産開始	
2011(平成23)	3・年間出荷数6,000万個を達成(過去最高記録) 8・自家発電機を導入	
2012(平成24)	8・次世代設備を導入 8・創立20周年祭を開催	
2013(平成25)	4・ボルシェ「911」用ディスクブレーキパッドを生産開始 6・マクラレン「P1™」用ディスクブレーキパッドを生産開始	

# 曙ブレーキグループ 北米拠点沿革

1977(昭和52)	<p>6・(株)曙インターナショナルを設立。 シカゴ駐在事務所が開設</p> 	1998(平成10)	<p>7・アメリカ現地法人 Akebono Corporation(North America)を設立 (ミシガン州デトロイトのアメリカ現地法人 Akebono America, Inc.、Akebono Brake Systems Engineering Center, Inc.、Akebono Corporation を吸収合併)(現：Akebono Brake Corporation)</p> 
1980(昭和55)	<p>4・アメリカ現地法人Akebono America, Inc. を イリノイ州シカゴに設立</p> 	2001(平成13)	<p>5・生産拠点Amtec Brake L.L.C.を設立</p> 
1984(昭和59)	<p>3・Akebono America, Inc. を イリノイ州ノースブルックに移転</p>	2003(平成15)	<p>6・アメリカ現地法人 Ambrake Manufacturing, Ltdを設立</p>
1986(昭和61)	<p>7・生産拠点Ambrake Corporationを設立 (現：Akebono Brake, Elizabethtown Plant) (本社はデラウェア州、工場はケンタッキー州 エリザベスタウン)</p> <p>11・Ambrake Corporation起工式</p>	2005(平成17)	<p>8・Delphi Automotive Systemsとの50:50の合弁会社 Ambrake Corporationを100%子会社化 (現：Akebono Brake, Elizabethtown Plant)</p>
1987(昭和62)	<p>6・Ambrake Corporation工場建設開始</p>	2006(平成18)	<p>3・Akebono Corporation(North America)の 北米本社機能をミシガン州ファーミントンヒルズから ケンタッキー州エリザベスタウンへ移転</p>
1988(昭和63)	<p>4・Akebono America, Inc.のブレーキおよび システム設計部門として、Brake System Engineering Center(BSEC)をミシガン州デトロイトに開設</p> <p>5・Ambrake Corporation生産開始</p> 	2007(平成19)	<p>1・【北米各社の呼称を変更】 ・Akebono Corporation(North America) →Akebono Brake Corporation ・Ambrake Corporation →Akebono Brake, Elizabethtown Plant ・Amak Brake L.L.C. →Akebono Brake, Glasgow Plant ・Amtec Brake L.L.C. →Akebono Brake, Springfield Plant</p> <p>3・アメリカ現地法人Akebono Brake Corporationの 新社屋完成(ケンタッキー州エリザベスタウン)</p>
1989(平成元)	<p>10・開発拠点Akebono Brake Systems Engineering Center, Inc.をミシガン州デトロイトに開設</p>	2008(平成20)	<p>2・Akebono Brake, Springfield Plant (Amtec Brake L.L.C.)を閉鎖</p>
1994(平成6)	<p>10・アメリカ現地法人Amak Brake Corporationを ケンタッキー州グラスゴーに設立 (現：Akebono Brake, Glasgow Plant)</p>  <p>12・アメリカ現地法人Akebono Corporation を イリノイ州シカゴに設立(北米における統括持株会社)</p>	2009(平成21)	<p>9・Akebono Corporation(North America)が 100%出資するABMA, LLCを設立</p> <p>12・Robert Bosch GmbHから北米ブレーキ事業を正式 に譲受け、Akebono Brake, Clarksville Plantと Akebono Brake, Columbia Plantが加わる</p>
1995(平成7)	<p>9・Amak Brake CorporationからAmak Brake L.L.C.と 会社形態を変更(ケンタッキー州グラスゴー)</p> <p>11・Amak Brake Corporationの譲入れ式を実施</p>	2012(平成24)	<p>1・アメリカ現地法人Akebono Corporation (North America)が、その100%子会社である Ambrake Corporation、Amak Brake L.L.C. およびABMA, L.L.C.を含む北米子会社7社と合併し、 Akebono Brake Corporationに改称</p> <p>4・メキシコ現地法人 Akebono Brake Mexico S.A. de C.V.を設立</p> <p>9・Akebono Brake Mexico S.A. de C.V. の地鎮祭を実施</p>

1984(昭和59)	10・フランス事務所Akebono Europe Bureau Liaison ((現:Akebono Europe S.A.S.(Gonesse))を伊藤忠商事のバリ事務所内に開設	1999(平成11)	5・パッドの生産開始
1985(昭和60)	<p>5・フランス事務所Akebono Europe Bureau Liaisonをヌイイ・シュル・セヌへ移設</p> <p>9・フランス現地法人Akebono Europe S.A.R.L. ((現:Akebono Europe S.A.S.(Gonesse))をヌイイ・シュル・セヌに設立(有限会社)</p> 	2000(平成12)	<p>10・ドイツ事務所(現 Akebono Europe GmbH)をバートナウハイムに設立</p> 
1995(平成7)	<p>4・フランス現地法人Akebono Europe S.A.R.L.をゴネスに移設、同地に、研究開発拠点Centre de Recherche Européen Akebono(CREA)を開設</p> 	2003(平成15)	9・Akebono Europe S.A.からAkebono Europe S.A.S.に変更
1998(平成10)	<p>一・フランス自動車部品工業会に加盟</p> <p>1・Akebono Europe S.A.R.L.からAkebono Europe S.A.に変更(有限会社から株式会社へ変更)</p> <p>2・フランス生産拠点のAkebono Arras S.A.をアラスに設立(現:Akebono Europe S.A.S.(Arras))</p> 	2004(平成16)	3・ドイツ現地法人Akebono Europe GmbHをリンブルクに設立
		2005(平成17)	1・akebono圏内初の予備成型なしの熱成型設備の導入
		2006(平成18)	1・イギリス現地法人Akebono Advanced Engineering (UK) Ltd.をロンドンに設立
		2007(平成19)	<p>4・ベルギー現地法人Akebono Brake Europe N.V.をブリュッセルに設立(欧州事業の統括事務所)</p>  <p>10・Gonesse・Arrasの合併に伴い、Arrasの法人格消滅</p> <p>12・Akebono Europe S.A.S.がAkebono Arras S.A.を吸収合併</p>
		2013(平成25)	8・フランス現地法人Akebono Engineering Center, Europe S.A.S.をベザンヌに設立
		2014(平成26)	<p>4・スロバキア現地法人 Akebono Brake Slovakia s.r.o. トレンチーンに設立</p> 

# 曙ブレーキグループ アジア拠点沿革

	【インドネシア】	【シンガポール】	【タイ】	【中国（広州）】	【中国（蘇州）】
1996 (平成8)	5・PT. Tri Dharma Wisesaに資本参加 (Akebono Brake Industry 30%)、ディスクブレーキ、ドラムブレーキを生産 				
1997 (平成9)	12・ノンアスベストパッド・ライニングを生産開始				
1998 (平成10)	11・QS9000の認証取得	10・シンガポール事務所を開設			
2001 (平成13)	6・アルミ castingを開始 12・ISO14001の認証取得			10・中国現地法人 広州曙光制動器有限公司を設立 12・鉄入れ式を実施	11・中国現地法人 曙光制動器(蘇州)有限公司を設立
2003 (平成15)		1・シンガポール法人 Akebono Corporation Asiaを設立			2・鉄入れ式を実施 
2004 (平成16)				12・初量産出荷式を開催 	2・初出荷 
2005 (平成17)					
2006 (平成18)	3・PT. Tri Dharma Wisesaの株式を追加取得 (Akebono Brake Industry 50% / Astra Otoparts Tbk. 50%)	8・Akebono Brake (Thailand) Co., Ltd. へ業務移管	8・タイ現地法人 Akebono Brake (Thailand) Co., Ltd. を設立 11・鉄入れ式を実施		
2007 (平成19)	1・ワンダフル・プラント活動を開始 1・ISO/TS16949の認証取得				6・ISO/TS16949の認証取得
2008 (平成20)		12・Akebono Corporation Asiaを閉鎖	3・初量産出荷式を開催 3・ディスクブレーキを初出荷 10・グランドオープン 11・パッドを初出荷	3・ISO/TS16949の認証取得	
2009 (平成21)			12・ISO14001の認証取得		
2010 (平成22)	12・ワンダフル・オフィス活動を開始 12・PT. Tri Dharma WisesaからPT. Akebono brake Astra Indonesia (Jakarta)に改称			9・ISO14001の認証取得	
2011 (平成23)	2・社名変更セレモニーを開催 12・第2工場が稼働開始				11・ベトナム現地法人 Akebono Brake Astra Vietnam Co., Ltd.を設立
2012 (平成24)	8・新事務棟社屋が完成 10・新社屋竣工セレモニーを開催		8・ピストン工場を建設、稼働開始		4・第二タンロン工業団地 レンタル工場に組み立て設備を導入 6・量産キックオフセレモニーを開催 
2013 (平成25)			5・Isuzu Motors Co., (Thailand) Ltd. から、最優秀品質賞を受賞	1・「Smart Plant活動」= 「広州改革活動」を開始 8・新ベンチマーク室活動を開始	
2014 (平成26)		12・シンガポール事務所を開設 (Akebono Brake Industry Co., Ltd Representative Office) として登記	10・(株)真岡製作所の合弁会社A&M Casting (Thailand) Co., Ltd. を設立 12・A&M Casting (Thailand) Co., Ltd. の定礎式を実施		8・Yamaha Motor Vietnam Co., Ltdへ量産品初物を納入

## 【ベトナム】